

令和8年度 数学科学習案内

1. 数学科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2. 学習内容

「数と式」…計算に関わること

「図形」…形についての特徴にかかわること

「関数」…複数の量について関わること

「データの活用」…数の処理に関わること

の4つの内容について系統的に学習します。算数と同様に正しい答えを求めるだけでなく、理由を明らかにしながら説明したり示したりすることも大切です。さらに、数学独特の表現の方法について理解を深めて、読み解くことができるようになることを身に付けていきます。

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

*** 知識・技能**

基本的な概念や原理、法則などの知識をもとに、数学的に表現・処理する技能。自分の考えを表現できる技能を、定期テスト・小テスト、レポートやノート等提出物、授業での様子などで評価します。

*** 思考力・判断力・表現力**

知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを、定期テスト・小テスト・話し合い活動の取組、レポートやノート等提出物、授業での様子などで評価します。

*** 主体的に学習に取り組む態度**

学ぶことに興味・関心を持ち、見通しや目的意識をもって粘り強く取り組む中で、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」ができているかを、定期テスト・小テスト、モジュール学習での活動、ノート、問題集、レポートの工夫、授業中の発言、話し合い活動の取組から評価します。

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学 期	4	1. 正の数・負の数 (1) 正の数・負の数	1. 式の計算 (1) 式の計算	1. 式の展開と因数分解 (1) 式の展開と因数分解
	5	(2) 正の数・負の数の計算 (3) 正の数・負の数の利用	(2) 文字式の利用	(2) 式の計算の利用
	6	2. 文字の式 (1) 文字を使った式	2. 連立方程式 (1) 連立方程式	2. 平方根 (1) 平方根
	7	(2) 文字式の計算	(2) 連立方程式の利用	(2) 根号を含む式の計算 (3) 平方根の利用
2 学 期	9	3. 方程式 (1) 方程式	3. 一次関数 (1) 一次関数とグラフ	(2) 二次方程式の利用
	10	(2) 方程式の利用	(2) 一次関数と方程式	4. 関数 $y = ax^2$ (1) 関数とグラフ
	11	4. 変化と対応 (1) 関数	(3) 一次関数の利用	(2) 関数 $y = ax^2$ の値の変化 (3) いろいろな事象と関数
	12	(2) 比例 (3) 反比例 (4) 比例・反比例の利用	4. 図形の調べ方 (1) 平行と合同 (2) 証明	5. 図形と相似 (1) 図形と相似 (2) 平行線と線分の比 (3) 相似な図形の計量 (4) 相似の利用
3 学 期		5. 平面図形 (1) 直線と図形 (2) 移動と作図 (3) 円とおうぎ形	5. 図形の性質と証明 (1) 三角形	6. 円の性質 (1) 円周角と中心角 (2) 円の性質の利用
	1	6. 空間図形 (1) 立体と空間図形	(2) 四角形	7. 三平方の定理 (1) 直角三角形の3辺の関係
	2	(2) 立体の表面積と体積	6. 場合の数と確率 (1) 場合の数と確率	(2) 三平方の定理の利用
	3	7. データの活用 (1) ヒストグラムと相対度数 (2) データにもとづく確率	7. 箱ひげ図とデータの活用 (1) 箱ひげ図	8. 標本調査 (1) 標本調査とデータの活用